

第14節 文化財

14-1 調査

1. 調査項目

対象事業に伴う文化財への影響について予測するための基礎資料を得ることを目的に、表 4-14-1 に示す項目について調査を行った。

2. 調査方法

各調査項目における調査方法及び調査頻度・時期等を表 4-14-1 に示す。

表 4-14-1 現地調査内容（文化財）

環境要素	調査項目	調査方法	調査頻度・時期等
文化財	埋蔵文化財	既存文献等又は聞き取りを行うとともに、その結果に基づき、文化財の有無を確認する	1回

3. 調査地域及び地点

予備調査の結果、対象事業実施区域内には埋蔵文化財が多数存在していることを確認している（第2章 第3節 自然的状況 3-6 景観・文化財の状況 2.文化財 p.2-110 参照）ことから、調査地域は文化財に影響を及ぼすと予想される対象事業実施区域内とした。

4. 調査期間

聞き取り調査は、諏訪市教育委員会を対象として、平成 29 年 2 月 15 日に実施した。

5. 調査結果

諏訪市教育委員会埋蔵文化財課との協議を行い、対象事業実施区域内における埋蔵文化財の位置、状況並びに試掘の実施状況について情報を得た。

聞き取りの結果得られた、対象事業実施区域内における埋蔵文化財の試掘状況を図 4-14-1 に、試掘結果を表 4-14-2 に示す。

なお、諏訪市教育委員会埋蔵文化財課との協議の結果、事業実施により切土となる部分については、試掘調査を実施する予定となっている。試掘は現時点では未実施であるため、試掘調査結果及びその後の対応については、環境影響評価書に記載する。

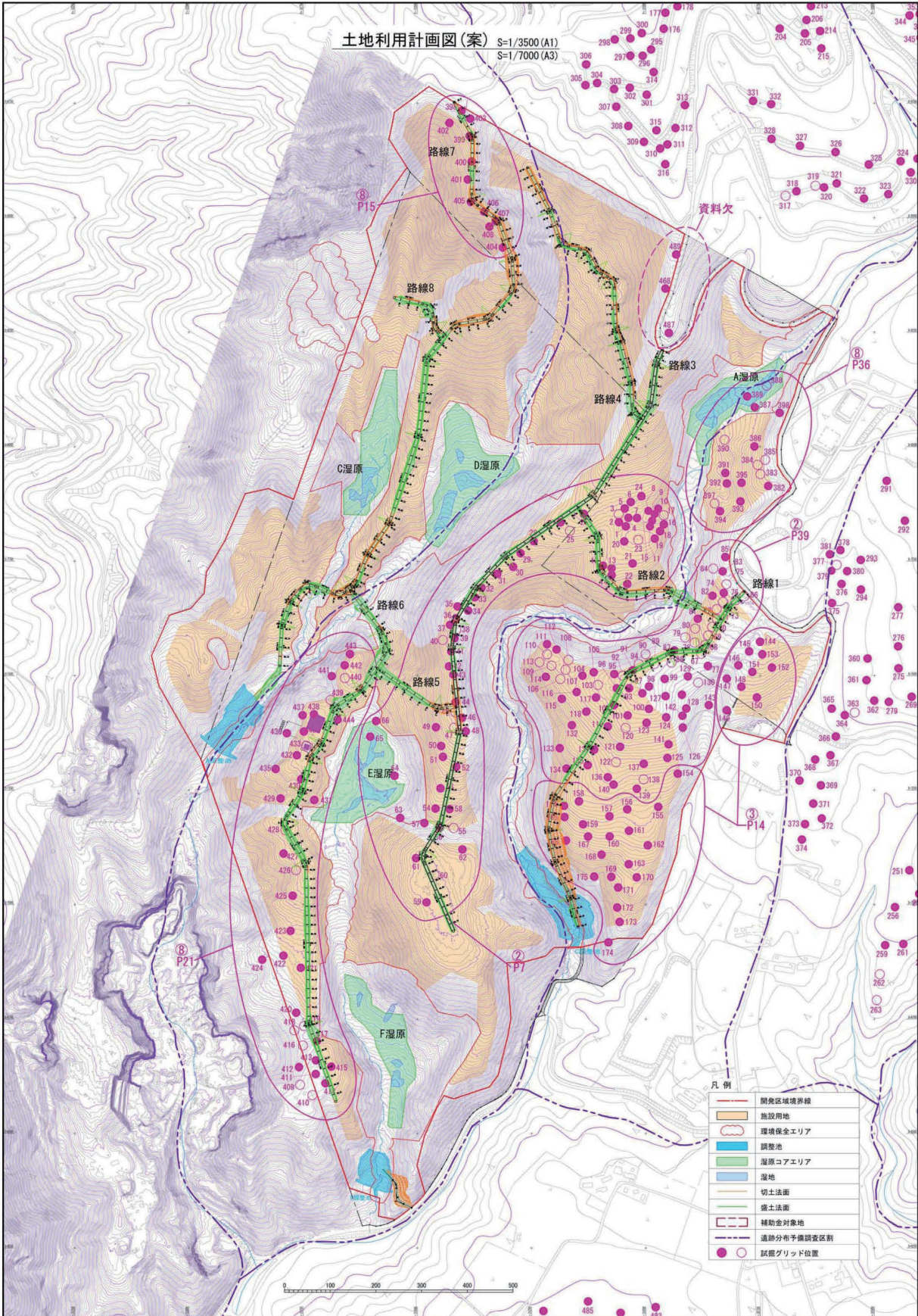


図 4-14-1 埋蔵文化財の試掘実施状況

表 4-14-2 埋蔵文化財の試掘結果（諏訪市教委との協議結果から）

No.	出土品	深さ	No.	出土品	深さ
3	黒耀石剥片 2 点	40～60cm	94	土器片 1 点	不明
17	不明	不明	103	黒耀石 1 点 土器片 3 点	30cm～
23	黒耀石製石器 4 点 水晶製石器 2 点	50cm～	106	黒耀石 12 点 土器片 9 点 その他石器 1 点	20cm～
25	黒耀石原石破片 1 点 黒耀石製石器 1 点	50～110cm	107	黒耀石 1 点 土器片 2 点 その他石器 2 点	不明
38	黒耀石製石器 4 点	85cm～	108	黒耀石 1 点 土器片 1 点	不明
40	遺構（陥し穴） 黒耀石剥片 1 点	壁断面の黒色土	109	黒耀石 1 点 土器片 5 点	不明
45	黒耀石製スクレイパー 縄文土器片	不明	110	黒耀石 4 点 土器片 2 点	1 層～
47	黒耀石小剥片 2 点 土器片 2 点	～50cm	113	土器片 1 点	不明
55	黒耀石剥片 1 点 微小原石塊多数	80～130cm	120	黒耀石剥片 1 点	不明
60	黒耀石剥片 3 点 石核 1 点	120cm～	122	黒耀石剥片 1 点	不明
67	黒耀石 2 点 その他石器 1 点	不明	130	黒耀石剥片 1 点	不明
68	黒耀石 5 点 土器片 1 点	不明	138	土器片 19 点（同一個体）	35cm～
69	その他石器 1 点	不明	383	不明	不明
70	黒耀石 7 点 土器片 2 点 その他石器 1 点	50cm～	384	黒耀石剥片 原石	表土中
71	黒耀石 8 点 土器片 5 点 その他石器 1 点	不明	385	黒耀石剥片 原石	表土中
72	黒耀石 13 点 土器片 12 点 その他石器 2 点	1 層～	388	黒耀石製ナイフ形石器 黒耀石小原石 礫	60cm～
73	黒耀石 3 点 土器片 10 点	不明	390	黒耀石剥片等	30cm～
75	土器片 1 点	不明	397	縄文時代早期土器片 黒耀石製石鏃（未製品）遺構（小竪穴）	20cm～
76	黒耀石 14 点 土器片 6 点 その他石器 2 点	60cm～	409	礫群及び石器類	50cm～
78	黒耀石 2 点 土器片 1 点 その他石器 1 点	不明	410	黒耀石剥片 1 点	50cm
79	土器片 1 点	不明	416	黒耀石剥片 石核 等	20cm～
80	黒耀石 2 点 土器片 1 点	不明	418	縄文土器片 黒耀石製石核	黒色土中 70cm～
84	遺構（陥し穴）	不明	419	縄文土器片 黒耀石製石核	黒色土中 70cm～
86	土器片 1 点	不明	426	黒耀石剥片 1 点 原石 1 点	35cm～
88	黒耀石 5 点 土器片 1 点 その他石器 1 点 黒耀石剥片 4 点	35cm～	428	押型文土器片 20 数点 ハンマーストーン 石鏃	30cm～
89	黒耀石 10 点 土器片 15 点	30cm～	433	黒耀石製石鏃	40cm～
90	土器片 2 点	不明	439	不明	不明
92	黒耀石製石鏃 1 点 土器片 3 点	20cm（1 層）～	440	黒耀石剥片	60cm

1 4 - 2 予測及び評価の結果

対象事業実施区域における、工事中における土地造成、掘削、廃材・残土等の発生・処理に伴う文化財への影響について予測及び評価を行った。

1. 予測の内容及び方法

文化財に係る予測の内容及び方法についての概要を、表 4-14-3 に示す。

1) 予測の内容

対象事業の影響要因を踏まえ、土地造成、掘削、廃材・残土等の発生・処理に伴う周辺環境への影響について予測を行った。

2) 予測地域及び地点

予測地域及び地点は、対象事業実施区域とした。

3) 予測対象時期

予測の対象時期については、工事に伴う土地造成は工事中及び工事完了後、掘削は掘削中及び掘削完了後、廃材・残土等の発生・処理は発生処理中とした。

表 4-14-3 文化財に係る予測手法（工事による影響）

影響要因の区分		予測事項	予測方法	予測地域・地点	予測対象時期等
工事による影響	土地造成（切土・盛土）	埋蔵文化財	直接的・間接的影響による変化の程度又は消滅の有無について予測	調査地域に準ずる	土地造成工事の工事中及び工事完了後、掘削中及び掘削完了後、廃材・残土等の発生・処理中
	掘削				
	廃材・残土等の発生・処理				

2. 工事中における土地造成・掘削等による文化財への影響

1) 予測項目

工事中における土地造成、掘削、廃材・残土等の発生・処理に伴う埋蔵文化財包蔵地の改変の程度とした。

2) 予測地域及び地点

対象事業実施区域とした。

3) 予測対象時期

土地造成工事の工事中及び工事完了後、掘削中及び掘削完了後、廃材・残土等の発生・処理中とした。

4) 予測方法

事業計画を基に、埋蔵文化財包蔵地の有無及び改変の程度を把握することにより行った。

5) 予測結果

土地造成（盛土・切土）を行う管理用道路建設地、改変予定地では埋蔵文化財への影響が否定できないため、環境保全措置の検討を行う。

6) 予測結果の信頼性

事業計画及び埋蔵文化財包蔵地との重ね合わせによる予測であり、信頼性は確保されているものとする。

7) 環境保全措置の内容と経緯

土地造成、掘削、廃材・残土等の発生・処理に伴う埋蔵文化財への影響を緩和するためには、道路計画及び改変予定地変更等の配慮が考えられる。

本事業の実施においては、できる限り環境への影響を緩和させることとし、表 4-14-4 に

示す環境保全措置を講じる。

表 4-14-4 環境保全措置（土地造成、掘削、廃材・残土等の発生・処理）

環境保全措置	環境保全措置の内容	環境保全措置の種類 ^注
事業地内道路計画、 改変予定地の変更	事前の試掘調査により、切土予定地及び改変予定地に埋蔵文化財が確認された場合は、諏訪市教育委員会埋蔵文化財課との協議の上、事業地内道路計画を見直す等、事業計画の変更を検討する。	回 避

注) 【環境保全措置の種類】

回 避：全部又は一部を行わないこと等により、影響を回避する。

8) 評価方法

調査及び予測の結果並びに検討した環境保全措置の内容を踏まえ、以下の観点から評価を行った。

① 環境への影響の緩和に係る評価

文化財に係る環境への影響が、実行可能な範囲で回避又は低減され、環境保全への配慮が適正になされているかを検討した。

9) 評価結果

(1) 環境への影響の緩和に係る評価

事業の実施にあたっては、「7) 環境保全措置の内容と経緯」に示したように、事業者としてできる限り環境への影響を緩和するため、「事業地内道路計画、改変予定地の変更」の環境保全措置を講じる計画である。

以上のことから、文化財に係る環境への影響については、環境への影響の緩和に適合するものと評価する。

